

路は自治会が維持管理しています。
今後、ずっとそのままの状態
で管理し続けなければならな
いのかと、住民は不安を抱え
ていますので、行政の方で早急に
移管手続が完了するようお願い
します。

回 答
浦添ハイツにある公園と道
路は、県知事許可による民間開
発行為により造られています。
市は当初から開発申請者に対
して、工事完了後は速やかに
公共施設を市に帰属するよう
求めてきましたが、当該土地に
は抵当権等が設定されていて、
所有権の移転ができていませ
んでした。その後、開発申請者
の都合により市への帰属移管
の手続がなされないまま、現在
に至っています。
市では移管を受けていない
施設であっても、安全上支障が
ある場合には、地域からの要請
により補修等を行う場合もあり
ますので、困った事がありま
したらご相談ください。
(都市建設部)



「浦西中学校区の地域開発
と将来ビジョンについて」
自治会からの意見要望等
【当山自治会】
①西原伊祖線―当山3号線―
農道6号の拡幅整備について
②当山石畳道と浦添大公園の
景観の充実について(浦添城跡
と運動)
【安川自治会】
③通学路(浦添看護学校そば
の里道の安全確保について
④自治会事務所の建設について
⑤国道330号の安川地区に
おける事故防止について

**当山自治会安川自治会
当山ハイツ自治会
合同行政懇談会**
・平成22年11月9日
・場所 当山公民館
・参加人数 40人
・市長講話

行政懇談会

市民の声を 市政に反映

行政懇談会は、市民の市政に対する声(意見・要望等)を直接聴いて、行政施策にできるだけ反映させ
ていくという目的で開催されています。
平成22年度の行政懇談会は、3回開催され、市政の現状や今後の方向性を示す市長講話で始まり、そ
の後に参加者と行政との活発な意見交換が行われました。
その行政懇談会において議題となった意見・要望等の一部をご紹介します。
※内容については、一部省略して掲載しています。

**仲間自治会
浦添ハイツ自治会
合同行政懇談会**

・平成22年11月2日
・場所 仲間自治会館
・参加人数 53人
・市長講話
「浦添市の将来像について」

自治会からの意見・要望等

【仲間自治会】

①墓地公園内の歩道整備につ
いて
②浦添大公園内西側に多目的
広場を整備することについて
【浦添ハイツ自治会】

③浦添ハイツ内の小公園(てだ
こ広場)、道路を浦添市へ早期
移管することについて
④国道330号浦添ハイツ出
入口付近の安全確保について

追加質問・意見等

①裸足で歩いた時に足つばを
刺激する歩道を造ってほしい。
②安波茶交差点から浦添中学
校体育館に向かうスクールゾ
ーンの交通規制について。
(仲間自治会)
③浦添ハイツと国道330号
との合流点に設けた加速帯へ
の駐停車禁止表示について
(浦添ハイツ自治会)

意見・要望等

仲間自治会の北側(石門)か
ら墓地公園内の駐車場までの
約30mは、道路の両側に歩道が
無く、急カーブにもなっている
ので、そこを通るときに大変危険を
感じます。

墓参りをする高齢者やウー
キングをする市民の安全確保
のために歩道の設置をお願い
します。

回 答

浦添墓地公園は、仲間自治
会を始め、地域の皆さまのご理
解を頂きながら、昭和48年から
整備を図り、現在に至っていま
す。

また隣接した浦添大公園の
整備も県の事業として実施さ
れていて、伊祖地域から浦添城
跡へ向けた散策路も整備が完
了し、ウォーキングの場所とし
ても利用されています。



市道仲間3号線、仲間自治会
の北側(石門)から墓地公園内
の駐車場までの約30m区間を
現場調査したところ、ご意見の
とおり歩道が未整備で、墓地公
園利用者や歩行者の安全確保
の必要性を感じています。
次年度以降の予算確保を図
りながら、墓地公園内駐車場へ
向かつて左側に、公園内園路と
して整備する方向で検討して
いきます。

(都市建設部
美らまち推進課)

意見・要望等

浦添ハイツは、約20年前に浦
添文化住宅会社により開発さ
れました。開発行為の条件に
は、開発した公園、道路を浦添
市に移管することになっている
かと思いますが、開発会社の都
合で移管されていないのが現
状で、当初からてだこ広場と道



【当山ハイツ自治会】
⑥当山ハイツ自治会集会所の
建設について
追加質問・意見等
①学校教育における2学期制
のメリットについて
(安川自治会)

意見・要望等

市では、当山石畳道を国指定
の文化財として申請する手続
を進めていると聞いています。

この機会に当山石畳道と浦添
大公園周辺について、次のよう
な景観整備を要望します。

石畳道の北側と南側の入口、
当山丁目19番と20番の間の道
路、当山公民館付近の道路(当
山3号線)をカラーレンガまた
はブロック等で特別な舗装を施
すことで、石畳道と周辺道路と
の体化を図るとともに、貴重
な文化財の紹介を演出して認
知度を高めるような整備をお
願いします。

回 答

本市は、平成18年に景観法に
基づく景観行政団体となり、翌
年に「浦添市景観まちづくり計
画」を策定しました。中でも本
市のシンボルである浦添グスク
の周辺地区として仲間地区を
位置づけ、市の景観まちづくり
条例に基づく重点地区として

定めました。現在、浦添グスク
と首里城を結ぶ宿道(尚寧王
の道)を含めた地区において、
歴史資産の復元整備や街並み
景観の向上に資する整備を取
り組んでいます。
浦添グスクの世界遺産追加
登録に向けた取組の中で、当山
地区についても仲間地区と同
様に歴史資産の復元整備を中
心とした景観形成を図ること
は極めて重要であると認識し
ています。

要望のあった当山3号線、周
辺道路と石畳道との一体化につ
いては、関係する機関や地域の
皆さまと協議をして前向きに
検討していきます。整備時期に
ついては、計画策定に要する時
間と財政状況を踏まえながら
取り組んでいきたいと考えて
います。

(都市建設部
美らまち推進課)

意見・要望等

市内の小中学校では、2学期
制が導入されていますが、メ
リットが無いように感じます。
これまでの3学期制は「よいこ
のあゆみ」などを通して3回の
評価があり、生徒たちが段階的
に努力する意識が持てるよう
に思いましたが、2学期制は2
回の評価しかないので、特に成

回 答

平成14年度から学校が完全
週5日制になったことに伴い、
授業時数というものが減りま
した。中学校では、音楽や美術
などの授業が週に1回しか実
施できなくなり、「授業を行っ
て評価する」という中身の充実
が難しくなりました。

2学期制は、約6か月をつ
つの学期として、しっかりと学習
することが目的で、夏休みにお
いて復習することができ、その
部分も評価していきます。また、
2学期制を導入することで、こ
れまであった3学期の始業式、

